京都ＳＤＧｓパートナー更新登録証

京都市立安朱小学校は、
ＳＤＧｓ、CO_2ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

SDGｓの17の観点から自分たちの暮らしや地域を見つめ直し、「大好きな安朱の街」を「より素敵な街」にして残していくことができるよう、「安朱子どもコンソーシアム」や様々な関係機関との連携を図りながら自分たちができることを考え、「未来の担い手」の育成と自然との共生や環境保全のための実践を積み重ねていく。

●ＳＤＧｓに関する重点的な取組●

【経済】学校内はもちろん、家庭や地域でのごみ減少のためのポスター作りなどの啓発活動や、ごみの分別、体操服のリサイクル、回収したタオルや古着を活用した雑巾やエコバックへのリユース、不用品の校内バザーなどの取組を進める。

【社会】発達段階に応じて、人権教育や健康・安全教育を系統的に進めていく。毎月、１日に設定している「なかまの日」で、その月のテーマについて考えを交流し、「誰一人取り残さない取組」を子どもなりに考え、行動できるようにしていく。

【環境】地域の安祥寺川や安祥寺山の自然を守るための水質検査活動や生き物観察を継続して行う。また、地域とも協力しながら雨量計測を行い、気候変動に対する具体的な対策や自然との共生、防災に関する心構えなどについて考える。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

安朱の街の魅力を見つけ出し、ポスターや看板、地図などを作成して、保護者や地域に発信する。また、世界中からやってくる観光客にその魅力が伝えられるようにする。また、他校や他団体との実践交流などを積極的に行い、自校の取組の参考にしていく。

※ 記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号　00110

更新日　2024年9月30日

京都市立安朱小学校

京都超SDGsコンソーシアム　京都市 CITY OF KYOTO

京都ＳＤＧｓパートナー制度は、オール京都でＳＤＧｓを推進する「きょうとＳＤＧｓネットワーク」を構成する制度の１つです。ＳＤＧｓの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超ＳＤＧｓコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。